

福岡女子大学国文学科 教員免許状更新講習

8月2日(木) 国語 「境界を超える「ことば」と「文学」

境界を超える「ことば」と「文学」 (各回70分授業)		日本の文学及び歴史をめぐる最近の研究動向を踏まえつつ、文学的・歴史的・語学的な諸問題を講じていく。学際的な手法を取り入れることによって、「国語」教材の研究にも有益となる新たな視点を取り込む。			
時間		授業名	講習担当	内容	
午前 の部 1限	9:00~10:10	「もの」と「ころ」と和歌	今井	「物」と「心」から見る和歌表現。ここでは、古典和歌の結句表現に着目して、どのような「物」が和歌の「心」を形づくっているかを考えてみたいと思います。具体的には「～ものにぞありける」や「～こちこそすれ」などの結句に接続する上四句のバリエーションを確かめ、そこに現れる「物」が「心」と結びつき、「文学」への道筋をたどる過程を追っていきます。こうした視点から、日本文学の伝統的な表現世界を垣間見ることができれば、と目論んでおります。	
午前 の部 2限	10:25~11:35	「公」と「オホヤケ」の語史	渡邊	わたしたちが普段、何気なく使っている「ことば」の由来をたどっていくと、意外な歴史がみえてくるのが少なくありません。「公」もその一つです。 本講義では「公」「オホヤケ」という「ことば」の成り立ちに注目して、その意味の歴史を考えます。あわせて、国語と日本史とをつなぐ視点・方法を提示できればと思います。	
午前 の部 3限	11:50~12:30	午前の部 筆記試験	坂本		
午後 の部 1限	13:30~14:40	言語の構造と古典読解	坂本	古典文を読み解く上でポイントとなる言語の統合的構造(文法的構造)と連合的構造(語彙的構造)を十分に把握し活用した読解法、教授法について講義します。 教科書にもよく取りあげられる『竹取物語』等の物語類や勅撰和歌集などの古典資料を主要題材として、古典語と近代語の統合的構造の変遷を視野に入れた教材研究の実例や、連合的構造に着目した教材活用法のヒントなどを交えて示します。	
午後 の部 2限	14:55~16:05				
午後 の部 3限	16:20~17:00	午後の部 筆記試験	坂本		

福岡女子大学国文学科 教員免許状更新講習

8月3日(金) 国語 「「国語」教材への視点」

「国語」教材への視点 (各回70分授業)		教科書に採択されている国語教材については、作品の一部に留まっていることが多い。本講習では、教材をめぐって、新知見からなる読解の方法の提示や日本語教育との対照など、国語教育に関わる問題を示し、新たな教授法を考える一助とする。		
時間		授業名	講習担当	内容
午前 の部 1限	9:00~10:10	日本語教育の文法と 国語教育の文法	橋本	ことばの「産出」をその主な目的とする日本語教育と、「理解」に重点を置く国語教育とでは、何がどのように違うのか。活用や品詞の分類など文法項目に焦点を当て、日本語教育で教えられる文法と国語教育で教えられる文法との違いやその問題点を考えます。また、近年、日本語教育の分野で多くの試みがある文法の学習項目の見直しについても紹介し、学習者にとって本当に必要な文法教育とは何かを考えます。
午前 の部 2限	10:25~11:35	日本近代文学と国語 教育	鈴木	本講座では、夏目漱石「こゝろ」、芥川龍之介「羅生門」、短歌・俳句・詩など、教材に採択されやすい「定番」や「名作」などの日本近代文学作品を取り上げます。新資料の発見や文学理論など近年の研究成果を踏まえつつ作品を読み直すことによって、魅力的な読解や解釈・鑑賞のあり方を検討します。
午前 の部 3限	11:50~12:30	午前部 筆記試験	坂本	
午後 の部 1限	13:30~14:40	日本語と古典	矢野	言葉のおもしろさを見直すことにより、国語教材への新しい見方のヒントを提示できればと思います。140分ありますので、前半は「言語遊戯と古典」、後半は「係り結びの働きとは何か」という2つの題目に分けて、それぞれ異なった問題の提起をしたいと思います。
午後 の部 2限	14:55~16:05			
午後 の部 3限	16:20~17:00	午後部 筆記試験	坂本	

福岡女子大学国文学科 教員免許状更新講習

8月4日(土) 国語 「国語」教材の講読Ⅰ」

「国語」教材の講読Ⅰ (各回70分授業)		古典(古文・漢文)に関して、原典を専門的に読み解いていくことにより、「国語」教材に対する読解力と指導力の更なる向上を目指す。基本的にはひとつの作品を丹念に講読していくことによって、活発な意見交換がはかれるようにする。			
時間		授業名	講習担当	内容	
午前 の部 1限	9:00~10:10	日本の漢詩を読む	月野	近年は日本漢詩も教科書に載るようになりましたが、大学の漢文の授業ではなかなか取り上げられる機会はないようです。 そこで、本講座では江戸時代の漢詩を少しまとめたかたちで読むことによって、江戸時代の詩人たちの作詩活動のイメージをつかむことができるよう工夫したいと思っています。また、〈推敲〉の方法についても考えてみます。	
午前 の部 2限	10:25~11:35				
午前 の部 3限	11:50~12:30	午前の部 筆記試験	坂本		
午後 の部 1限	13:30~14:40	源氏物語の紫の上をめぐる構想を読む	工藤	『源氏物語』葵巻には、正妻葵の上が死んだあと、若紫との新枕、三日夜の餅の場面があります。光源氏は三日夜の餅を密かに用意させます。めでたいはずの三日夜の餅を、なぜ隠そうとするのでしょうか。当時の結婚制度を明らかにしつつ、光源氏の意図を読み解きます。併せて、点としての源氏物語教材を、線として理解する視点を提示したいと思っています。	
午後 の部 2限	14:55~16:05				
午後 の部 3限	16:20~17:00	午後の部 筆記試験	坂本		

福岡女子大学国文学科 教員免許状更新講習

8月5日(日) 国語 「国語」教材の講読Ⅱ」

「国語」教材の講読Ⅱ (各回70分授業)		古典を中心に、原典を専門的に読み解いていくことにより、「国語」教材に対する読解力と指導力の更なる向上を目指す。基本的にはひとつの作品を丹念に講読していくことによって、活発な意見交換がはかれるようにする。		
時間		授業名	講習担当	内容
午前の部 1限	9:00~10:10	『平家物語』の「かたり」	今井	「平家物語」は、生徒にも人気のある古典作品です。『徒然草』226段が伝える「平家物語」成立に関する逸話をヒントに、「平家物語」の物語としての特徴や、その成立の背景について読み解いてみようと思います。教科書では、抒情的な文体の「覚一本」系統の本文で物語を鑑賞することが多いけれども、読み本系統の「延慶本」などと比較しながら、「平家物語」の創作の機微にも触れられたらと思っています。
午前の部 2限	10:25~11:35			
午前の部 3限	11:50~12:30	午前の部 筆記試験	坂本	
午後の部 1限	13:30~14:40	連句的発想の文体 —細部にやどる古文 のレトリック—	大久保	古文教材でおなじみの芭蕉・蕪村・一茶の「俳句」や俳文的な文章を読解するには、書かれた文章の表層を直接要約するのではなく、古典文学全般のイメージと江戸時代的「俳諧」の感覚の共有を必要とします。本講座では、芭蕉や西鶴の作品にみる「俳」の発想や「連想する」文体の特徴を追いながら、その細部と余韻の読み方について考えます。
午後の部 2限	14:55~16:05			
午後の部 3限	16:20~17:00	午後の部 筆記試験	坂本	

8月9日(木) 理科 「環境問題をわかりやすく多面的に捉える」

(1) 地球環境問題を考える		「地球温暖化」に対する有効で重要な対策である「自然エネルギー」の特徴(長所と短所)を理解し、課題を明らかにすると同時に、持続可能な社会の構築には、どのように「自然エネルギー」の活用を図っていくべきかを考えていきます。身近な「環境問題」としては、「紙おむつ」の中身や関連の環境問題について、紙おむつを解体し、どのような工夫が施されているかを体験するなどして、わかりやすく学びます。		
時間		授業名	講習担当	内容
1限	9:00~10:00	紙おむつを化学の目で観る	吉村	紙おむつは育児と介護の必需品であり、快適に使用できるためのいろいろな工夫がなされています。名前と異なり、「紙」以外の多様な素材も用いられています。その中身や関連の環境問題について、わかりやすく解説します。また、紙おむつを解体して頂き、どのような工夫が施されているかを、体験して頂きます。  <u>※履修認定のため、履修認定試験有り(授業時間に含む)</u>
2限	10:10~11:10			
3限	11:20~12:20			
4限	13:20~14:20	地球温暖化と自然エネルギー	藤岡	地球温暖化の機構、将来予測、影響、および地球温暖化対策技術についての取り組みに関して理解を深める。対策技術の中でも自然エネルギーは温暖化に対する有効で重要な対策であり、その特徴(長所と短所)を理解し課題を明らかにする。地球環境問題は現代の世代と将来の世代でどのように地球の富を分配していくかという問題であるとの視点に立って、持続可能な社会の構築に当たってどのように自然エネルギーの活用を図っていくかを考察する。  <u>※履修認定のため、履修認定試験有り(授業時間に含む)</u>
5限	14:30~15:30			
6限	15:40~16:40			

8月10日(金) 理科 「環境問題をわかりやすく多面的に捉える」

(2) 循環型社会における ごみ処理・3R・水		「3R活動」や「循環型社会」への転換の必要性を理解するため、(1)「ごみ処理」の歴史や廃棄物の現状、(2)循環型社会基本計画や容器包装、家電製品、自動車等の各種個別「リサイクル制度」、(3)経済社会における資源性物質と有害性物質の流れ(ライフサイクル)について概説します。また、水道水の水質や臭いが気になったことはありませんか。循環資源の一つである水道水について制度や新しい技術、取組みを学び、水道水の臭気を誰でも簡単に、楽しく、客観的に測定する方法を実際に実習で体験します。		
時間		授業名	講習担当	内容
1限	9:00~10:00	循環型社会における ごみ処理と3R政策	野馬	身近な環境問題としてごみ問題があり、ごみ問題解決に向けた行動指針として3R(リデュース、リユース、リサイクル)が提案されています。3R活動や循環型社会への転換の必要性を理解するため、ごみ処理の歴史や廃棄物の定義・種類・発生量などの現状、また循環型社会基本計画や容器包装、家電製品、自動車等の各種個別リサイクル制度の現状と課題、そして資源採取から製品製造、使用、廃棄、リサイクルという経済社会における資源性物質と有害性物質の流れ(ライフサイクル)について概説する。  <u>※履修認定のため、履修認定試験有り(授業時間に含む)</u>
2限	10:10~11:10			
3限	11:20~12:20			
4限	13:20~14:20	水道を巡る諸問題と 水道水の臭気測定	柳橋	私たちは、普段何気なく水道を利用していますが、安全で安価な水道水を安定的に供給するためにはさまざまな努力が行われています。厚生労働省の水道水質の責任者であった講師が、水道の制度や新しい技術、取組みなどについて解説します。また、水道水の臭いが気になったことはないでしょうか。水道水の臭気を誰でも簡単に、楽しく、しかも客観的に測定する方法を講師が開発し、公的な測定方法として採用されました。その方法や理論について説明し、実際に実習で体験してもらいます。  <u>※履修認定のため、履修認定試験有り(授業時間に含む)</u>
5限	14:30~15:30			
6限	15:40~16:40			

8月11日(土) 理科 「環境問題をわかりやすく多面的に捉える」

(3) 安全で快適な生活環境の構築		私たちの生活は様々な「リスク」に満ちています。一見安全と見える「家庭」内であっても様々なリスクが潜んでおり、事故がおきます。特に高齢社会となった今日、そのリスクは高まっていると考えられます。また、家庭を取り巻く「社会」もまた、事故や疾病、さらに経済問題などの、健康で快適な生活を損なうリスクを抱えています。この講義では、そうした様々なリスクについての解説と、リスクの数学的な把握、実際の対処法を講義します。		
時間		授業名	講習担当	内容
1限	9:00~10:00	生活とリスク	錦谷	日常生活においてよく耳にする「リスク」について、リスクの定義と種類、リスクの求め方と解釈について知り、社会生活におけるリスクとの上手な付き合い方を考察する。たとえば化学物質の健康影響リスク、社会活動における事故リスクなど、リスクの表わす数値の意味を考える。リスクとの付き合い方に関しては、社会保障をはじめとした各種セーフティネットの役割について、海外事例と共に我が国の状況を解説し、理解を深める。  <u>※履修認定のため、事例を用いたリスク計算の演習および計算問題を含む試験あり(コンピュータ使用、授業時間に含む)。</u>
2限	10:10~11:10			
3限	11:20~12:20			
4限	13:20~14:20	安全で快適な生活環境の構築	大中	不慮の事故で死亡した人は年間4万人を上回り(平成20年度)、そのうち家庭内での事故による死亡者は1/3を占めている。その犠牲者の多くが高齢者であり、高齢者数が増加する中で、家庭における事故は増加することが危惧されている。本講義では家庭内事故の実態を解説し、高齢者の心理生理的特徴との関係で事故防止のために生活環境、特に住居の整備について考察する。  <u>※履修認定のため、履修認定試験有り(授業時間に含む)</u>
5限	14:30~15:30			
6限	15:40~16:40			